

平成 23 年 1 月 21 日

シンビオ社会研究会 平成 22 年度技術交流会
(日本原子力学会 HMS 研究部会 HMS 専門委員会との合同開催)

講演題目: 「IEC 会議報告(原子力プラント制御室関連規格)」

講師所属: 岡山大学 大学院自然科学研究科 産業創成工学専攻 教授

講師氏名: 五福 明夫 (ごふく あきお)



講演概要

日本の原子力技術の国外展開には、国際規格に準拠していることが重要であり、国際規格制定に向けての日本の積極的な関与が必要である。

電気技術に関連した国際規格の制定を行っている IEC の会合が、本年 10 月に米国シアトルで開催された。講演者が出席した原子力プラントの制御室関連の WG での協議内容について報告する。

前回(2009 年 9 月横浜)での協議内容を踏まえて、コンピュータベースの手順(CBP)に関して、規格の委員会原案に対する各国委員会の投票結果とコメントを反映した修正案が検討され、規格制定へ向けての今後の進め方が協議された。

また、IEEE との合同規格(Dual Logo 規格)についての検討状況についても協議された。さらに、今後、IEC 規格として制定すべきテーマについて協議された。

講師略歴

- 1983 年 3 月 京都大学大学院工学研究科博士前期課程電気工学第二専攻修了
- 1984 年 4 月 京都大学原子エネルギー研究所助手
- 1994 年 12 月 岡山大学工学部機械工学科助教授
- 1996 年 4 月 岡山大学工学部システム工学科助教授
- 1998 年 12 月 岡山大学工学部システム工学科教授
- 2005 年 4 月 岡山大学大学院自然科学研究科教授